

2011年6月9日現在

**Autodesk Subscription**  
サブスクリプション契約に基づく前バージョンの使用について

**Autodesk®**

## 目次

概要	P.2
前バージョン使用例	P.2
【ケース1:サブスクリプション付き2012バージョン製品を新規で購入した場合】	P.2
【ケース2:サブスクリプション付き 2012 バージョン製品をアップグレードで購入した場合】	P.2
【ケース3:アップグレードのたびに、ライセンスを追加していく場合】	P.3
前バージョン使用時の各種申請方法	P.4
【ソフトウェアの入手】	P.4
【シリアル番号の入手】	P.5
【アクティベーションコード／ライセンスファイルの入手】	P.6
サポート範囲	P.6
契約満了後のご注意	P.6
【最新版パッケージをご利用している状態で契約を満了した場合】	P.6
【最新版パッケージをアクティベーションせず、アップグレード履歴のある前バージョンをご利用している状態で契約を満了した場合】	P.7
【最新版パッケージをアクティベーションせず、サブスクリプション契約に基づく過去 3 世代の前バージョンをご利用している状態で契約を満了した場合】	P.7

## 概要

本書は、サブスクリプション契約のメリットのひとつである「前バージョンの使用」について、具体例や図表によって理解しやすく解説したものとなります。実際の詳細な条件、および本書に記載外の事柄に関しては、サブスクリプションの『使用条件』、『プログラムガイド』、『前バージョンのライセンス使用—対象製品一覧』をご参照ください。また「前バージョンの使用」は、サブスクリプションの使用条件に記載のものが最優先されますことをご了承ください。

サブスクリプションに契約すると、最新バージョンに加えて、過去 3 世代の前バージョン(※)、およびアップグレード履歴のある前バージョン(※※)が使用できます。これにより、既存資産の有効活用にお役立ていただけます。

スタンドアロンライセンスでお使いの場合、1 台のパソコンに使用したいバージョンを全てインストールできますが、起動できるのは 1 バージョンのみです。複数バージョンを同時に使用することはできません。

ネットワークライセンスでお使いの場合、同時使用数がサブスクリプション契約の同一グループ内(=同一シリアル番号)に設定されている本数を上限としたライセンスファイルが発行されます。このライセンスファイルをパッケージライセンスと呼び、最新バージョン+過去 3 世代の前バージョンの使用権が含まれていますので、1つのライセンスファイルで 4 バージョンを自由な組み合わせで使用することができます。

また、Suite 製品の場合、Suite 製品に含まれている各々の単体製品の前バージョンの利用が可能です。使用可能なバージョンについては、サブスクリプション センターの[契約管理]>[前バージョン]>[前バージョン:スタートアップ]ページに添付されている「対象製品一覧」にてご確認ください。

※ 以下文中に「過去 3 世代の前バージョン」という記載があった場合、2012 バージョンが最新版であるという仮定のもと、2011、2010、2009 バージョンのことを指すものとします。また、過去 3 世代の前バージョンであっても、前バージョンの使用可能対象とはならない製品もあります。対象製品詳細についてはサブスクリプション センターの[契約管理]>[前バージョン]>[前バージョン:スタートアップ]ページに添付されている「対象製品一覧」にてご確認ください。

※※ 「アップグレード履歴のある前バージョン」とは、概ね次の 2 つを指します。i) 購入履歴があるバージョン ii) サブスクリプション契約に基づいて受け取られたアップグレード版のバージョン。また、購入履歴のある前バージョンの対象となるアップグレードは、同一製品間でのアップグレードのみをさし、後継製品外からのアップグレードは前バージョン対象には含まれませんので、ご了承ください。

(参考)

<同一製品へのアップグレードと、使用可能な前バージョン>

AutoCAD 2008 を AutoCAD 2011 へアップグレードしサブスクリプションのアップグレード版自動送付で AutoCAD 2012 を入手。このとき AutoCAD 2008 バージョンは使用可能。

<他製品へのアップグレードと、使用可能な前バージョン>

AutoCAD 2008 の購入履歴のある AutoCAD 2012 を、Autodesk Design Suite 2012 へアップグレード。このとき、AutoCAD 2008 は使用不可。

ただし、2011 年 5 月現在の名称が AutoCAD Inventor Suite、AutoCAD Inventor Professional Suite、AutoCAD Inventor Routed Systems Suite、AutoCAD Inventor Tooling Suite、AutoCAD Inventor Simulation Suite (以下 AIX)の 2008 バージョン以下のアップグレード履歴をもつサブスクリプションユーザーの場合、Autodesk Product Design Suite 2012 へ自動マイグレーションが行われます。よって、2011 年 8 月末までに行われたこの自動マイグレーション対象の AIX に限り、AIX の 2008 バージョン以下の前バージョン使用は、Suite へのマイグレーション後も可能となります。

## 前バージョン使用例

【ケース1: サブスクリプション付き2012バージョン製品を新規で購入した場合】

最新版のほか、過去3世代の前バージョンも使用できます。

例えば新規で2012バージョンを購入された場合、2011、2010、2009もご利用いただけます。ご利用いただく際、同時使用数をご購入されたライセンス本数を超えることはできません。

【ケース2: サブスクリプション付き 2012 バージョン製品をアップグレードで購入した場合】

最新版、過去3世代の前バージョンに加え、アップグレード履歴のある前バージョンも使用できます。

例えば、2005バージョンを新規で購入、続いて2008バージョンをアップグレードで購入、続いて2011バージョンをサブスクリプション付きでアップグレードで購入し、2012バージョンはサブスクリプション契約に基づいてパッケージを受け取った場合、現在使用できるバージョンは、2005、2008、2009、2010、2011、2012となります。

2005, 2008, 2011, 2012 はアップグレード履歴のあるバージョンとなります。

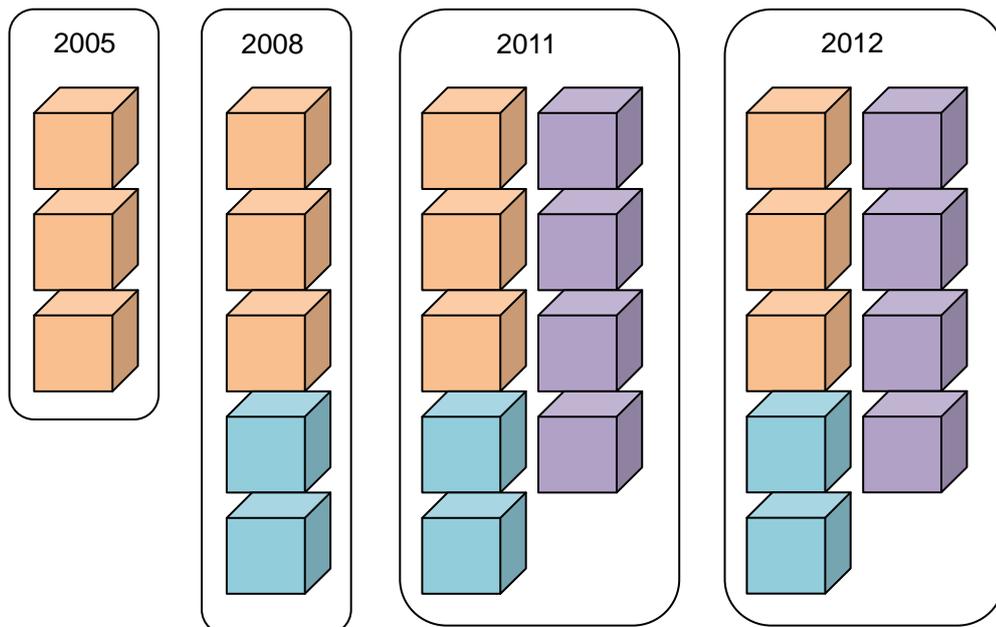
2009, および2010バージョンは、2012バージョンが最新版のとき、サブスクリプション契約に基づく最新版に付随してご利用いただけるバージョンとなります。

【ケース3: アップグレードのたびに、ライセンスを追加していく場合】

ケース2と同様のアップグレードを行い、アップグレードの度に本数を増やしていった場合、バージョンごとにご利用いただける本数に留意していただく必要があります。

(例)

2005バージョンを新規で3本購入、続いて2008バージョンにアップグレードする際に2本追加購入(合計5本)、続いて2011バージョンにサブスクリプション付きでアップグレードする際に4本追加購入(合計9本)し、サブスクリプション契約に基づいて、2012バージョンを受け取り、現在9本所有しており、サブスクリプションに契約中とします。



最新版が 2012 の時 2005,2008,2011,2012 の 4 バージョンの使用権をもつライセンス

最新版が 2012 の時 2008,2011,2012 の 3 バージョンの使用権をもつライセンス (2005 の使用権はありません)

最新版が 2012 の時 2011,2012 の 2 バージョン使用をもつライセンス (2005, 2008 の使用権はありません)

- 最新版が 2012 バージョンの時
- 2011,2010,2009 について、過去 3 世代の前バージョンの使用特典に基づいて、同時使用数最大 9 本ご使用できます。
  - 2008 については、アップグレード履歴のある前バージョンなので、同時使用数最大 5 本までご使用できます。
  - 2007,2006 についてはアップグレードの履歴がないので使用できません。
  - 2005 については、アップグレード履歴のある前バージョンなので、同時使用数最大 3 本までご使用できます。

このとき、同時使用数は最大9本までとなり、バージョンの組み合わせは自由にご利用いただけます。ただし、2005バージョンと2008バージョンは過去3世代よりも前のバージョンとなるため、2005バージョンは最大で3本、2008バージョンは最大で5本までしか同時使用ができません。2012バージョンが最新版のとき、2012,2011,2010,2009は同時使用数が最大9本となります。以下は同時使用組み合わせの例です。

- |   |                        |
|---|------------------------|
| 例1: 2012=9本、2011=0本、2010=0本、2009=0本、2008=0本、2005=0本 | =>OK                   |
| 例2: 2012=0本、2011=4本、2010=0本、2009=0本、2008=2本、2005=3本 | =>OK                   |
| 例3: 2012=0本、2011=0本、2010=0本、2009=0本、2008=0本、2005=9本 | =>NG (2005はもともと3本のみ所有) |
| 例4: 2012=0本、2011=0本、2010=0本、2009=9本、2008=0本、2005=0本 | =>OK                   |
| 例5: 2012=1本、2011=1本、2010=1本、2009=1本、2008=5本、2005=0本 | =>OK                   |
| 例6: 2012=1本、2011=1本、2010=1本、2009=1本、2008=5本、2005=3本 | =>NG (使用総本数が9本を超えている)  |

## 前バージョン使用時の各種申請方法

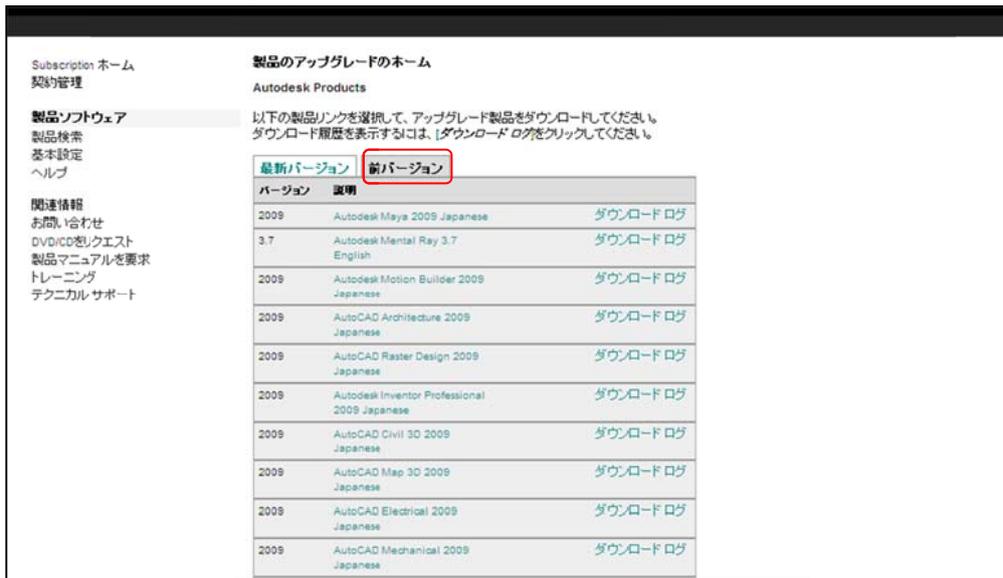
2012 バージョンを新規で購入して、2011、2010、2009 バージョンを使用したい場合、ソフトウェアやインストール時に必要なシリアル番号、アクティベーションコードやライセンスファイルを新たに入手する必要があります。

### 【ソフトウェアの入手】

2012バージョンを新規で購入して、2011、2010、2009バージョンを使用したい場合、ソフトウェアを新たに入手する必要があります。入手方法は3通りあります。

<入手方法その1> サブスクリプション センターからダウンロードする(2009バージョン以降)

サブスクリプション センター([www.autodesk.co.jp/subs\\_signin](http://www.autodesk.co.jp/subs_signin))にサインイン後、[ダウンロード]>[製品のダウンロード]>[前バージョン]タブを選択し、ダウンロードしたい製品をクリックします。2009バージョンよりも古いソフトウェアが必要な場合は、メディア リクエストによって入手してください。



<入手方法その2> サブスクリプション センターからメディアをリクエストする

サブスクリプションセンター([www.autodesk.co.jp/subs\\_signin](http://www.autodesk.co.jp/subs_signin))にサインイン後、画面左メニュー[契約管理]>[前バージョン]>[スタンドアロンライセンス]>[CD または DVD が必要です]を順次選択していくと、メディアリクエストのトップページが別ウィンドウで開きます。あとは画面に従って必要な情報を入力してください。

詳細は、資料『サブスクリプション契約に基づくメディアのリクエスト方法』をご覧ください。



## 【シリアル番号の入手】

シリアル番号とはオートデスク製品をインストールする際に必要な XXX-XXXXXXXX の数字で、パッケージごとに固有のシリアル番号が振られています。アップグレード版の購入、あるいはサブスクリプション契約の特典として自動送付されてきたアップグレード版については、新たにシリアル番号を取得する必要はありません。パッケージに記載のシリアル番号でインストール／アクティベーションを行ってください。

### <スタンドアロン製品>

アップグレード履歴のあるバージョンについては、そのバージョン入手時のシリアル番号を引き続きご利用ください。

2012 バージョンをサブスクリプション付きで新規に購入し、2011、2010、2009 バージョンをこれからはじめて使用したい場合は、シリアル番号を新たに入手する必要があります。

サブスクリプション センターに契約管理者権限を持つ方がサインインしたのち、[契約管理]>[前バージョン]のページへ進みます。[スタンドアロンライセンス]を選択して[続行]をクリックします。

Subscription ホーム  
契約管理ホーム

前バージョン: スタートアップ

Autodesk Subscription をご利用のお客様は、契約している会計ライセンス数を上限として 2009 バージョンの 3 バージョン前までご利用いただけます。

対象製品一覧(PDF) 前バージョンのライセンスを利用できるのは、このドキュメントに記載されている製品のみです。

これは Subscription のスタンドアロンライセンスとネットワークライセンスの両方をご利用いただけます。Subscription のライセンスを確認するには、カレッジレポート を参照してください。

前バージョンを使用するには、適用されるライセンスを選択し、継続ボタンをクリックしてください。

スタンドアロンライセンス

ネットワークライセンス

Subscription に契約している製品の前バージョンのオリジナルソフトウェアとシリアル番号を持っている場合は、通常どおりソフトウェアをインストールしてください。注意-インストールできるのは、期に所剩しているシート数までご利用されます。

前バージョンの使用 使用条件 (76k PDF) によって管理されます。

前バージョンの使用に関する FAQ Subscription ユーザーのための、前バージョン利用に関する FAQ です。

[ライセンス/シリアル番号が必要です]を選択し[続行]をクリックします。

Subscription ホーム  
契約管理ホーム

前バージョン: スタンドアロンライセンス

適用するものを選択し、いずれかから選択してください。

ライセンス/シリアル番号が必要です。

追加ライセンスが必要で、既にシリアル番号を持っています。

CD または DVD をインストールしてアクティベーションを行う必要があります。

CD または DVD が必要です。

契約番号、最新バージョンのシリアル番号、製品名、希望するバージョンを入力したのち[送信]をクリックします。のちほど前バージョンのインストールで用いるためのシリアル番号が電子メールで通知されます。

契約および製品情報

前バージョンのライセンスのベースとなる現在のライセンス情報として、シリアル番号およびネットワークス  
タンドアロンライセンスを指定してください。このフォームの入力に必要な情報については、カレッジレポート  
を参照してください。

\* 必須入力

契約番号 340-69314250

現在のシリアル番号	前製品名	リリース
000 - 00000000	Autodesk Inventor Professional	2006
111 - 11111111	AutoCAD	2007

#### <ネットワーク製品>

最新版のシリアル番号に基づいて発行されるライセンスファイルをセットすることで、過去 3 世代の前バージョンも最新版と同様に使用することができます。前バージョンを使用するために、新たにサーバのシリアル番号を取得する必要はありません。

ただし、Autodesk Maya および製造デザイン系の製品は仕様異なります。また、4 世代以上前のバージョンをご利用になりたい場合などの詳細についてはオートデスク認定販売パートナー、もしくはサブスクリプションセンター内画面右側にある「お困りですか？お気軽にお問い合わせください」のプロモーションボックスをクリックし、WEB フォームに質問事項をご記入いただいてオートデスクまでご連絡ください。

#### 【アクティベーションコード／ライセンスファイルの入手】

##### <スタンドアロン製品>

インターネットに接続しているPCへソフトウェアをインストールする場合は、画面に従ってインストールを行うことで、自動的に永久ライセンスが発行され、ソフトウェアのアクティベーションが完了します。

インターネットに接続していないPCへソフトウェアをインストールする場合は、別途、電子メールあるいはファクシミリでオートデスクユーザ登録センターへアクティベーションコードをリクエストします。このとき、4 世代以上前の前バージョンのライセンスに関しては、原則 13 か月の期限がついたアクティベーションコードが発行されます。永久ライセンスをご希望の場合は、その旨をお書き添えのうえ、アクティベーションコードのリクエストをお願いいたします。

##### <ネットワーク製品>

製品のインストールの前に AdLM(Autodesk License Manager)の設定が必須です。詳細は以下の PDF をご覧になるか、オートデスクの販売店までご連絡ください。<http://tech.autodesk.jp/faq/file/QA-4594.pdf>

ライセンスの結合に関してはこちらのサイトをご確認ください。

[http://tech.autodesk.jp/faq/faq/adsk\\_result\\_dd.asp?QA\\_ID=4020](http://tech.autodesk.jp/faq/faq/adsk_result_dd.asp?QA_ID=4020)

また、4 世代以上前の前バージョンのライセンスに関しては、原則 13 か月の期限がついたライセンスファイルが発行されます。永久ライセンスをご希望の場合は、その旨をお書き添えのうえ、ライセンスファイルのリクエストをお願いいたします。

## サポート範囲

サブスクリプション契約対象の製品については、原則、最新版と過去 3 世代の前バージョンが技術サポートの対象となります。なお、過去 3 世代以内のバージョンであっても、前バージョンの使用可能対象とはならない製品もあります。また、サポート対象製品のリストは、サブスクリプションセンターに掲載している「対象製品一覧」に一致します。最新のリストはサブスクリプションセンターの[契約管理]>[前バージョン]>[前バージョン:スタートアップ]に添付されているものをご確認ください。

## 契約満了後のご注意

サブスクリプション契約満了後に使用できるライセンスのバージョンは、契約期間中に行ったライセンスアクティベーションの状況により異なります。以下に記載の点に十分ご注意ください。前バージョン使用のメリットを継続してご利用されたい場合は、サブスクリプション契約を継続されることをお勧めいたします。

#### 【最新版パッケージをご利用している状態で契約を満了した場合】

例:2011 バージョン スタンドアロンライセンスを新規購入時にサブスクリプションに契約。2012 バージョンはサブスクリプションの自動送付にてうけとり、2012 バージョンをアクティベーションしたのちに契約満了。2011 と 2012 バージョンを併用している。

=>2012 バージョンは引き続きご利用いただけます。2011 バージョンは契約満了後、速やかにアンインストールする必要があります。2011 バージョンを継続してご利用いただくにはサブスクリプション契約をご継続いただく必要があります。

例:2011 バージョン ネットワークライセンスを新規購入時にサブスクリプションに契約。2012 バージョンはサブスクリプションの自動送付にてうけとり、2012 バージョンのライセンスファイルを取得ののちに契約満了。2011、2010、2009 バージョンと併用している。

=>2012 バージョンは引き続きご利用いただけます。2011 バージョン以下の製品は契約満了後、速やかにアンインストールする必要があります。また、契約満了後に再取得できるライセンスファイルは、パッケージライセンスファイルではなく、2012 バージョンのみがご利用できるライセンスファイルとなります。2011、2010、2009 バージョンを継続してご利用いただくにはサブスクリプション契約をご継続いただく必要があります。

【最新版パッケージをアクティベーションせず、アップグレード履歴のある前バージョンをご利用している状態で契約を満了した場合】

例:2007 バージョンのスタンドアロンライセンスを新規で購入時にサブスクリプションに契約。その後継続して契約更新していた。サブスクリプションの自動送付で取得した 2011 バージョンを、2007 バージョンと併用しており、2012 バージョンはアクティベーションしていない状態で契約を満了した。

⇒契約満了後は 2011 バージョンのみ引き続きお使いいただけます。また 2011 バージョンのアクティベーションコードの再取得も可能です。随時 2012 バージョンへアップグレードし、アクティベーションすることができますが、2012 バージョンにアップグレードした際は、2011 バージョンはアンインストールする必要があります。2007 バージョンについては契約満了後、速やかにアンインストールする必要があります。2007 バージョンを継続してご利用いただくにはサブスクリプション契約をご継続いただく必要があります。

例:2007 バージョンのネットワークライセンスを新規で購入時にサブスクリプションに契約。その後継続して契約更新し、現在も 2007 バージョンの環境で利用している。一度 2008 をインストールしたものの、アプリケーションの関係で 2007 へ使用バージョンを戻した経緯がある。2009、2010、2011、2012 はライセンスを取得していない。この状態で契約を満了した。

⇒2008 バージョンのライセンスを取得してしまった履歴があるので、契約満了後は 2007 バージョンのライセンスファイルを取得することができず、2007 バージョンはアンインストールする必要があります。2008 バージョンは引き続きご利用いただけます。また、2009 以上のバージョンについては随時アップグレードすることができます。アップグレードした際は、前バージョンはすべてアンインストールする必要があります。2007 バージョンを継続してご利用いただくにはサブスクリプション契約をご継続いただく必要があります。

【最新版パッケージをアクティベーションせず、サブスクリプション契約に基づく過去 3 世代の前バージョンを利用している状態で契約を満了した場合】

例:2011 バージョンをスタンドアロンライセンスの新規で購入の際、サブスクリプションに契約。2010 のシリアル番号を取得し、2011、2012 はいずれも未使用のまま 2010 バージョンを利用している状態で契約を満了した。

⇒契約満了後は 2010 バージョンを速やかにアンインストールする必要があります。2011 あるいはサブスクリプション自動送付で入手した 2012 バージョンのいずれか一つのバージョンをご利用ください。2010 バージョンを継続してご利用いただくにはサブスクリプション契約をご継続いただく必要があります。

例:2011 バージョンをネットワークライセンスの新規で購入の際、サブスクリプションに契約。2011 バージョンのパッケージライセンスにて、2010 バージョンを利用している状態で契約を満了した。

⇒契約満了後は 2010 バージョンを速やかにアンインストールする必要があります。2011 あるいはサブスクリプション自動送付で入手した 2012 バージョンのいずれか一つのバージョンをご利用ください。2011 および 2012 バージョンの単体のライセンスファイルの取得は可能ですが、前バージョンが使用できるパッケージライセンスを再取得することはできません。また、契約満了後は 2011 バージョンをご利用いただくことはできませんが、2010 バージョンを継続してご利用いただくにはサブスクリプション契約をご継続いただく必要があります。

『サブスクリプション使用条件(ご利用条件)』、『プログラムガイド』、『前バージョンのライセンス使用-対象製品一覧』の各ドキュメントが、本書に対して優先適用されます。本書は事前通知なく改定されることがあります。

Autodesk, AutoCAD, AutoCAD Inventor Suite, AutoCAD Inventor Professional Suite, Autodesk DesigSuite, Autodesk Product Design Suite は、米国および/またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。その他のすべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に帰属します。オートデスクは、通知を行うことなくいつでも該当製品の提供および機能を変更する権利を留保し、本書中の誤植または図表の誤りについて責任を負いません。

© 2011 Autodesk, Inc. All rights reserved.